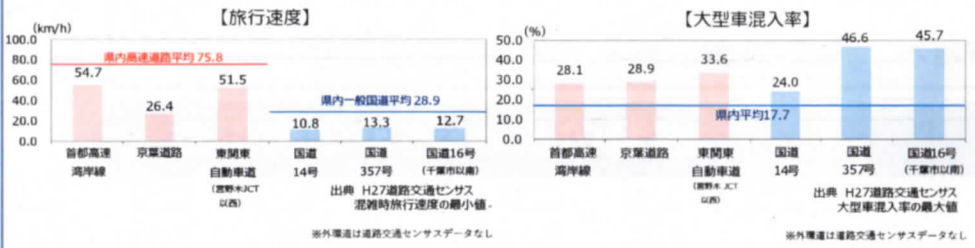
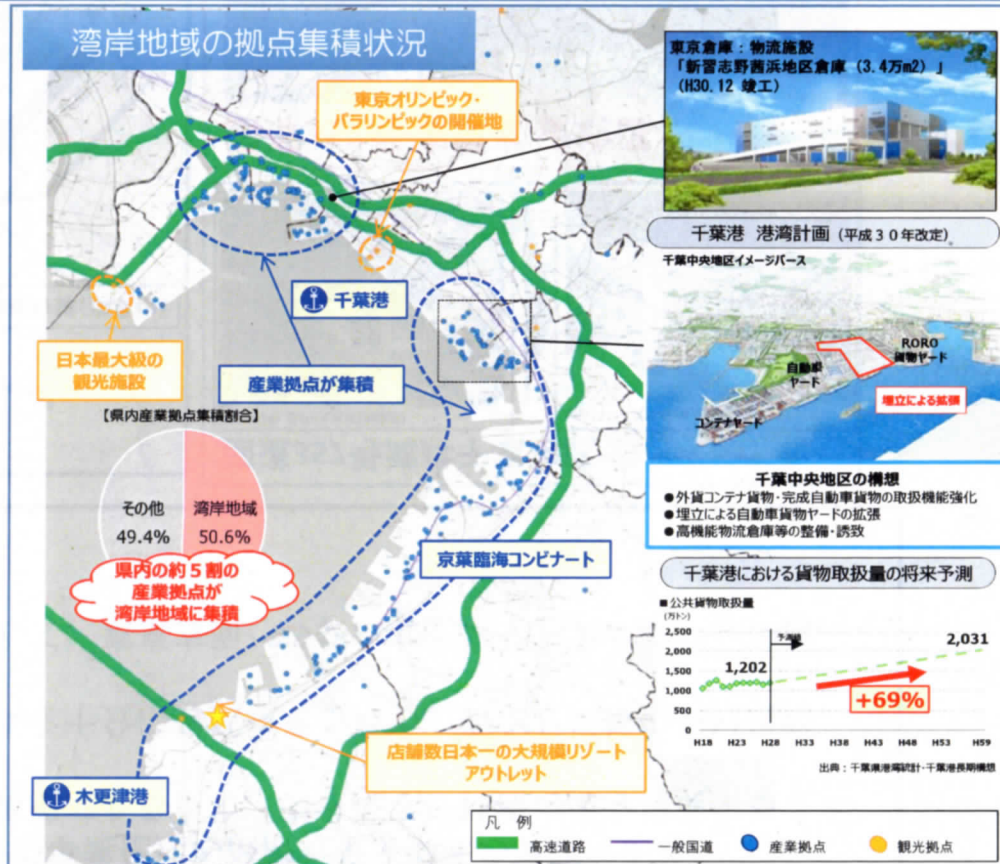




- ・アクアライン着岸地を含む本県湾岸地域には、国際拠点港湾の千葉港や重要港湾の木更津港、京葉臨海コンビナートなど、首都圏の経済活動を支える重要な拠点を有するとともに、今後も、港湾機能の強化や物流施設の立地等に伴う交通需要の増大が見込まれている。
- ・湾岸地域の交通は、東関東自動車道、京葉道路、国道357号、国道16号などにおいて、慢性的な渋滞が発生するとともに、東京湾アクアラインにおいても、特に休日の朝夕、交通集中による渋滞が発生しており、交通の円滑化が喫緊の課題。

■引き続き、湾岸地域の渋滞対策を推進することが必要であり、特に京葉道路の抜本的な渋滞対策の計画の具体化が必要。
 ■湾岸地域が持つポテンシャルを十分に発揮させるため、第二東京湾岸道路を軸とした新たな規格の高い道路ネットワークの早期具体化が必要。



【現状と課題】

- ・湾岸地域には、県内の産業拠点の5割が集積するなど本県経済を牽引
- ・千葉港の機能強化に伴う企業誘致など、ますますポテンシャルの高まる地域
- ・湾岸地域における慢性的な渋滞

・平常時・災害時を問わない安定的かつ安全・円滑な「人」・「モノ」の流れを確保し、京葉臨海コンビナート周辺の幅広い地域の企業の発展に寄与

・更なる発展が見込まれる、湾岸地域の国際競争力の強化

湾岸地域において、第二東京湾岸道路を軸とした新たな規格の高い道路ネットワークの早期具体化が必要